

## グッチ 失われたブランド

### 「会社概要」

1921年にグッチオ・グッチ氏がフィレンツェにカバン工房として創業し、世界的ラグジュアリーブランドに成長したイタリアのファッションブランド。バッグ、サイフ、宝飾品、時計、服、靴などを幅広く扱う。

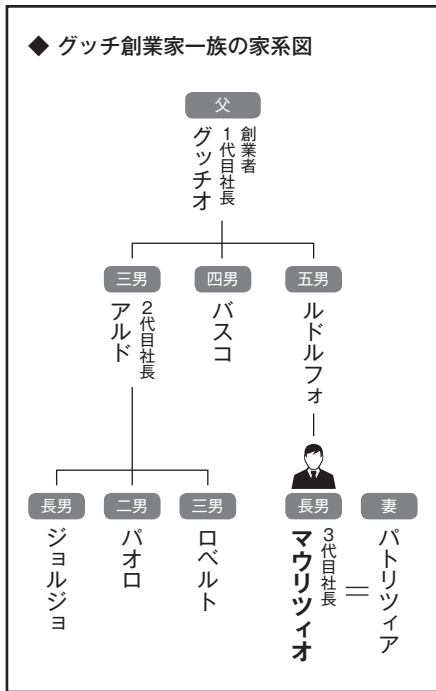
グッチオ氏の三男で、2代目社長のアルド・グッチ氏は、グッチのロゴを商品に付けて「グッチ」ブランドを確立。世界展開に成功し、グッチは急速に成長した。

1953年、グッチオ氏が亡くなり、アルド氏、四男のバスコ・グッチ氏、五男のルドルフォ・グッチ氏がグッチ株を均等に33・3%ずつ相続。その後、バスコ氏が早世し、その保有グッチ株をアルド氏とルドルフォ氏が等分に取り。

アルド氏の3人の息子、長男のジョルジョ・グッチ氏、二男のパオロ・グッチ氏、三男のロベルト・グッチ氏の3人もグッチで仕事に就く。アルド氏は、子どもたちに経営参加させるために、保有するグッチ株のうち40%を自らに

残したうえで、ジョルジョ氏、パオロ氏、ロベルト氏の3人に3・3%ずつ株を持たせた。

一方、ルドルフォ氏が亡くなり、1人息子のマウリツィオ・グッチ氏がルドルフォ氏保有のグッチ株を全て相続した。



※敬称略